

令和8年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 市1

千葉市立千葉高等学校 全日制の課程 理数科

1 期待する生徒像

理数分野に強く興味・関心を有し、次のア～ウのすべてを満たす生徒

ア 学習成績が極めて優れており、かつ、入学後も学習に高い向上心をもって取り組むことができること。

イ 他者の考えを的確に理解し、かつ、自分の考えを明確に発信できる力をもつこと。

ウ スポーツ活動・文化活動・生徒会活動・ボランティア活動等に積極的に取り組む意志があること。

2 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 作文	字数：500字以上600字以内 検査時間：50分
(3) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：3分

3 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔150点満点〕

アの数値に、イについて加点（上限15点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。
イ 特別活動の記録、部活動等の記録及び特記事項	生徒会活動、部活動、その他の活動等における顕著な実績などについて加点する。

(2) 学校設定検査（作文）〔30点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（満たしている）・b（満たしていない）の2段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～b b）で得点化する。b bの組合せの場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に対して過不足がない。
イ 内容	与えられたテーマに対して内容が適切である。

(3) 面接〔30点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a a～c c c）で得点化する。評価cが6つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 面接に臨む態度	礼儀正しい態度で、適切な受け答えができる。
イ 質問に対する応対	自分の考えや主張を明確に表現し、質問に対して的確に答えている。
ウ 高校生活の意欲	高校生活における目標を具体的に述べられる。

4 選抜方法

「調査書の得点」、「作文の得点」及び「面接の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。ただし、作文または面接の評価で評価cが付いている場合は慎重に審議する。

＜総得点の満点の内訳＞

調査書の得点		作文の得点	面接の得点	総得点
評定 (K=1)	加点			
1 3 5点	1 5点	3 0点	3 0点	2 1 0点

5 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。